

今週（3月24日から3月28日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のコール市場は、引き続き資金調達サイドのニーズが強く、レートは高水準で推移した。無担保コールO/N物加重平均レートは、3/24(月)と3/25(火)が0.476%、3/26(水)が0.477%、3/27(木)が0.476%で推移した。本日は3日積のため資金調達ニーズが一段と強まる展開となった。
ターム物に関しては、1～2Wが0.477～0.60%、1～3Mが0.53～0.65%での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初は522兆円程度で始まり、その後は財政要因と国債買入オペ等の影響により、27日(木)までに528兆円程度まで増加した。本日も年度末諸払いの影響により増加し、530兆円程度での着地が予想される。

●レボ市場

今週のG C T/N物は0.25～0.50%近辺で推移した。
S C取引の個別銘柄では、カレント近辺の銘柄に引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンと1Yゾーンが堅調に推移した。
28日に実施された3M物入札は、テールが流れる結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも軟調に推移した。

●CP市場

今週は月末発行週にあたり、不動産・電気機器・石油・石炭等、複数の業態で大型発行がみられた。
市場残高は週を通して24兆円台で推移しているが、期末の有利子負債圧縮の影響で、3/31には大幅に減少する見込みとなっている。
発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
3/24（月）	37,608.49	1.540	149.80	0.476	0.490	5,218,000
3/25（火）	37,780.54	1.574	150.65	0.476	0.489	5,267,300
3/26（水）	38,027.29	1.580	150.15	0.477	0.486	5,265,700
3/27（木）	37,799.97	1.585	150.50	0.476	0.447	5,276,900
3/28（金）	37,120.33	1.545	150.85	0.477	0.301	5,297,500

来週（3月31日から4月4日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/31 (月)	2月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 2月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 2月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y 4/1発行 26,000億円			3月のシカゴPM景況感指数
4/1 (火)	3月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 2月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 2月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30)				3月のISM製造業景況指数 2月の米建設支出 3月のユーロ圏消費者物価指数速報値
4/2 (水)	3月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)				2月の米製造業新規受注・出荷・在庫
4/3 (木)	4月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	10Y 4/4発行 26,000億円	交付税借入 4/11借入 11,000億円		3月のISM非製造業景況指数 2月の米貿易収支
4/4 (金)	2月の全世帯家計調査(総務省 8:30)	TB3M 4/7発行 45,000億円			3月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/31 (月) 日銀予想	1,500	9,800	11,300	国債買入 CP買入 社債買入 国債補完供給	▲ 2,000 ▲ 100 2,900	8,000	8,800	20,100	年度末諸払い 地方譲与税譲与金 TB3M発行▲45,000償還43,000
4/1 (火) 弊社予想	1,500	▲ 22,000	▲ 20,500				0	▲ 20,500	2Y発行▲26,000 償還14,200
4/2 (水) 弊社予想	1,500	8,000	9,500				0	9,500	普通、地方特例交付金の払い 税・保険料揚げ
4/3 (木) 弊社予想	1,000	2,000	3,000				0	3,000	
4/4 (金) 弊社予想	1,000	▲ 25,000	▲ 24,000				0	▲ 24,000	10Y発行▲26,000 恩給
週 間 合 計	6,500	▲ 27,200	▲ 20,700	—	800	8,000	8,800	▲ 11,900	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが旺盛な中、0.477%程度の出合いが予想される。債券レボG C T / N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.35～0.50%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、4/4(金)に3M物の入札が予定されている。C P市場は、期明けの発行となり、市場残高がどこまで回復するか注目される。

主要なイベントは、国内では1日(火)に3月調査の日銀短観の発表、海外では1日(火)に米3月ISM製造業景況指数、3日(木)に米3月ISM非製造業景況指数、4日(金)に3月米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。